

マイナポイント申込支援窓口を本庁舎 1 階に設置

○マイナポイント申込支援事業費 450万円

(概要) マイナンバーカード普及促進事業の実施に伴い、マイナポイントの申込支援希望者が増加しているため、窓口業務を委託することとし、委託に要する経費を計上するもの。

質疑 マイナポイント申込支援窓口の人員は、何名になる予定か。また、業務を委託するに当たり、申込者の個人情報保護についてはどのような対策を行うのか。

答弁 現在は、情報政策課の窓口において職員が3台のパソコンを使用してマイナポイントの申込支援業務を実施しているが、申込者が多く、今後も増加が見込まれることから、市役所本庁舎1階に申込支援窓口を設置し、委託業者3名の人員で対応する予定である。

申込手続においては、必要な操作を申込者自身に行っていただくため、基本的に委託業者が個人情報を取り扱うことはないが、委託業者には、個人情報の取り扱いを徹底させる。



文教環境分科会

議案第93号 令和2年度鈴鹿市一般会計補正予算(第7号)

木樋^{もくひ}が出土した大下遺跡の追加調査を実施

○埋蔵文化財保護費 54万1,000円

(概要) 大下遺跡から木樋が出土したことによる、年代測定の追加調査に要する経費を計上するもの。

質疑 木樋が発見されるまでの経緯と今後の調査の予定についてどのように考えているのか。

答弁 稲生町の埋蔵文化財包蔵地内にて行われた道路改良事業に伴い、平成30年に遺跡の発掘調査を行った。その調査中に、国内最古級と考えられる木樋が発見された。

今後は埋蔵文化財包蔵地を拡張することを予定しているが、現時点では、さらに範囲を広げて発掘調査を実施するかどうかは、決まっていない。



木樋の発見時の状態



ふたを外した状態

※年代測定の結果、1世紀後半～3世紀初頭のものと考えられる。